

2010年4月30日

【新規格付/格付変更】 池田泉州銀行 証券コード：非上場

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

長期個別債務格付（承継、劣後債）： BBB → BBB＋

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

5月1日、池田泉州ホールディングス（証券コード：8714）傘下の池田銀行と泉州銀行が合併し、池田泉州銀行となる。存続会社は池田銀行で、消滅する泉州銀行の債権・債務はすべて引き継がれる。

R&Iは2009年7月、統合後のグループのリスク耐久力がAゾーンを大きく下回ると評価し、泉州銀行の発行体格付をA－からBBB＋に下げた。その後、2010年2月に池田泉州ホールディングスが増資計画を発表したのを受け、格付の方向性を安定的からポジティブに変更していた。Tier Iに占める優先株の割合が高く資本の充実度に課題は残るものの、市場リスクの削減と約440億円の増資によりリスク耐久力はAゾーンに見合う水準まで回復しつつある。合併前に市場リスクを圧縮、今後も抑制していく方針であり、リスク耐久力の改善は徐々に進むとみている。これを踏まえて新たに発足する池田泉州銀行の発行体格付をA－とし、方向性を安定的とした。これを受け、泉州銀行から承継する劣後債の格付をBBBからBBB＋に上げた。

主要営業地盤である大阪府と阪神間は日本でも有数の経済的に肥沃な土地である。大阪府、兵庫県での預貸金シェアは数%にとどまるが、大阪北部と阪神間、大阪南部を中心に一定の市場地位を確保している。合併により、営業基盤の潜在的な価値は向上している。今後、事業性取引では、大阪発祥の信用力の高い企業との関係を引き続き重視するほか、信用保証協会の保証を活用するなど中小企業取引も増やしていく方針だ。住宅ローンの推進に当たっては泉州銀行で培ったノウハウを大阪北部や阪神地域で活用していく方針である。池田銀行、泉州銀行双方の強みを発揮することで営業基盤の掘り起こしがどこまで進むか注目している。

与信ポートフォリオの特徴をみると、住宅ローンの構成比が約5割と高いのが特徴だ。また、都市型地方銀行であるため、不動産賃貸業向け与信の割合もやや高い。住宅ローン市場は競争が厳しくなっていることに加え、今後注力する大阪北部・阪神間は比較的地価が高く、融資率（LTV）や総返済負担率（DTI）が高くなりがちで、資産の質の悪化につながる可能性がある。そのため、ローンポートフォリオの適切な管理が一段と重要になっている。また、合併によって拡大した規模やリスクテイク方針に見合ったリスク管理の強化が不可欠である。市場運用では池田銀行が2007年度、2008年度と、多額の損失を計上したが、合併前にREITの残高を圧縮するなど市場リスクを削減している。再び有価証券運用で多額の損失が発生する可能性はかなり小さくなっているとみている。

資産の質は全体としては健全な水準にあるが、大口与信先の中には業況が厳しい顧客もみられるなど一部には懸念要素が残っている。過去、池田銀行は不動産関連業などで多額の与信コストを計上してきた。営業エリアの不動産市況が低迷した場合は信用コストが上振れるリスクがある。また、住宅ローンの構成比の高さが資産の質に寄与してきたが、景気の低迷により延滞・代弁率が上昇傾向にある。審査を厳格化して質の改善を図っていく方針であり、その成果を見守る。

両行合算のコア業務純益をベースにした総資産利益率（ROA）は地方銀行平均を下回る。2010年3月期は政策金利変更の影響で資金利益が減少、泉州銀行の繰延税金資産の取り崩しなどもあり当期純損失となる見込みだ。優先株の配当負担が重く内部留保の蓄積は進みにくい。ただ、合併により預貸金のバランスは改善し、資金調達費用の削減や低利回りの貸出金の圧縮が可能となる。中期的には本部部門の統合やシステム経費の削減も期待できる。

営業地盤における預金基盤は個人を中心に安定しており、流動性は潤沢である。

当該格付に適用した主要な格付方法は「R&Iの信用格付の基本的な考え方」及び「ハイブリッド証券

お問い合わせ先 **格付投資情報センター** インベスターズ・サービス本部 〒103-0027東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング

TEL.03-3276-3511 FAX.03-3276-3413 <http://www.r-i.co.jp> E-mail infodept@r-i.co.jp

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等を約定通りに履行する確実性（信用力）に対するR&Iの意見の表明であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧ください。

©Rating and Investment Information, Inc.

と金融機関の格付の考え方」である。これらの格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに下記ウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html>

【格付対象】（2010年5月1日付）

発行者：池田泉州銀行（証券コード：非上場）

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A-（新規）		安定的	
名称	発行総額 (百万円)	発行日	償還日	格付
第2回期限前償還条項 付無担保社債(劣後特 約付)	10,000	2007年 2月27日	2017年 2月27日	BBB → BBB+

☆発行体格付は、発行体が負うすべての金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見である。発行体格付は、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務等の格付は、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付を下回る、または上回ることがある。